

第 25 回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA 最終審査(ホール審査) 総評 高校生部門

●審査員 A

さすがアジア大会に進んだ方々、ハイレベルの演奏でした。テクニックに余裕があり、音楽の構成も緻密且つ表現豊かな演奏を聴かせていただきました。気になった点は速い tempo に設定するのはいいのですが、それによりモチーフのキャラクターが失われないうように気をつけましょう。又、広い空間で響きのいいホールではペダルをよくコントロールし、細部が鮮明に聴こえているか耳を傾けましょう。皆さんのこれからの成長を楽しみにしています。

●審査員 B

この部門と中学生部門とは共通の課題曲も多いですが、年長の高校生には解釈の成熟さを期待しています。特に音質に於いて、強弱が p でも f でも高貴な音であることを心がけてください。p では音が乏しく、f では音が硬いことが多く残念でした。最終的な評価に大きく影響することなので、是非注意してみてください。

また若い参加者の部門では速過ぎるテンポの選択も許容されやすいですが、この部門のように上級になるにつれ、より本格的な「音楽の時間」の使い方とテンポのコントロールが求められます。もちろん、これにはステージでの十分な練習と経験が必要です。ですから、なるべく頻繁に演奏してください。そして自分の演奏を録音して聞いてみてください。あなた自身の演奏から多くを学ぶことができるでしょう。ステージ上では適切なテンポで弾いているつもりでも、実際には速過ぎることも多々あり、録音を聴くとそのことがよく分かります。

皆さん演奏をありがとうございました。将来有望な日本人アーティストの演奏を聴くことは、非常に嬉しいことです。あなたの更なる芸術的な成長を祈っています！がんばってください！

●審査員 C

参加者の皆さん、先生そして親御さんお疲れさまでした。皆さんが力を合わせてアジア大会まで進まれたことと思います。

レベルはまちまちでしたが、暗譜の正確さとステージでの緊張感を上手に活用している姿が印象的でした。

今後、以下について更に気をつけてみてください。

- ・いろいろな音楽や演奏を聴きましょう（ピアノに限らず）。コンサートに行きましょう。音源も聴きましょう。
- ・弾きながら自分の演奏を聴く力を育てましょう。自らの演奏をしっかりと評価できるよ

うになります。

- ・音の質と多様性
- ・音楽表現に合わせてテンポを調整しましょう
- ・論理的な形式の構築
- ・速い曲であっても、常にフレージングに合わせたブレスを心がけましょう
- ・ペダリング
- ・演奏する曲に合わせて音の種類や強弱を調整しましょう

これからもがんばってください、成功を祈っています！

●審査員 D

とても皆さん演奏レベルが高くて楽しめました。エチュードに関しては、ほとんどの方が弾きこなしているのは驚きですね。これからももっともっと上がっていくにちがいありません。ショパンの音楽に対してもよく研究されています。でもハーモニーに対して更に感覚音色を磨いていかれると良いと思います。ペダル音が濁ってしまう方、多く見られました。ペダリングも更に磨いて下さい。

●審査員 E

- ・音質の良さ、調和のとれたひびき、多声部の立体的なバランスを大切にして下さい。
- ・構成を意識した全体のバランス（多彩な音楽表現、緩急のバランス）
- ・ショパンの高貴さ、気高さ、儂さ、洒落さ、憂い、優しさの感情、ショパンらしさに近付けるよう音色で語りかけて下さい、
- ・右手のメロディーは、左手の和声的土台の上に成り立っているということを常に感じて、音楽的な演奏につなげて行って下さい。

●審査員 F

年々レベルアップしていると感じました。テクニックも確かに上がり、何よりショパン独特のニュアンス、アゴーギグなど向上しているように思います。聴いていて安心して音楽に聴き入っている自身がいます。この調子で年々上げ、本場でも頑張る人がどんどん増えそうですし、そうなって欲しいものです。